

平成 20 年度施策評価表

① 総合計画	まちづくりの目標	3 章 豊かな心で健やかに暮らせる支え合いのまち（社会福祉の充実）		
	施策（大柱）	3 節 高齢者福祉	H20 実施計画事業費合計	682,601 千円
	中柱	1 いきいきと暮らすための支援・サービスの充実	424,485 千円	※「H20実施計画事業費合計」は、当該計画に主要な事業と位置づけられた事務事業について、各施策、各中柱でそれぞれ合計した事業費です。
		2 生きがい支援の充実	254,622 千円	
		3 地域ネットワーク環境の整備	3,494 千円	
		千円		
施策に関係する所属	福祉総務課、高齢者支援課、成人保健課			

② 施策の概要	1) 基本方針及び施策の目的
	○高齢者が、いつまでもいきいきと健康で暮らせるよう、計画的に施策を進める。 ○高齢者や家族が気軽に相談できる窓口の整備と、安心して暮らせるためのサービスを充実する。 ○高齢者が生きがいを持って生活するため、就労や社会参加を支援する。 ○高齢者や家族が、地域で安心して生活できる施設の整備を進める。
	2) 施策の具体的な内容及び実施方法 ○いきいきと暮らすための支援・サービスの充実 高齢者がいつまでも健康で生活できるよう、また、何らかの不都合が生じた場合に的確に対応できるよう、相談体制の充実、在宅介護の支援、保健・福祉・医療の連携強化、施設の整備、ボランティア等の支援を行う。 ○生きがい支援の充実 高齢者が生きがいを感じて生活できるように、地域活動・スポーツ・文化活動・就労等様々な機会の提供を行い、また、こうした活動の拠点整備を進める。 ○地域ネットワーク環境の整備 高齢者や家族が安心して生活できるよう、ネットワークの整備や見守り体制の充実を図る。また、様々な事件から高齢者を守るための安全対策を進める
	3) 分野別計画、指針
	○第3期所沢市高齢者保健福祉計画 介護保険事業計画

③ 優先的に取り組む事業	○3-5社会保障 ○3-6保健・医療 ○4-1生涯学習 ○5-6労働環境																													
	5) 施策に対する市民ニーズ																													
	『平成19年度所沢市市民意識調査』（20歳以上の男女、無作為抽出による2000人を対象とし、平成19年11月に実施。831人より回収。）における、全43施策についての市民要望の確認（複数回答可）の結果です。																													
	6) 施策に係る基礎数値																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目名</th> <th>単位</th> <th>平成17年度</th> <th>平成18年度</th> <th>平成19年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>老年人口（65歳以上）の割合（高齢化率）</td> <td>%</td> <td>16.2</td> <td>17.2</td> <td>18.1</td> </tr> <tr> <td>高齢者福祉施設数</td> <td>箇所</td> <td>31</td> <td>31</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>介護保険認定者数(1号)</td> <td>人</td> <td>7,504</td> <td>7,870</td> <td>8,441</td> </tr> <tr> <td>公民館等で実施された高齢者対象の講座数</td> <td>件</td> <td>176</td> <td>273</td> <td>397</td> </tr> <tr> <td>見守り相談員数</td> <td>人</td> <td>36</td> <td>36</td> <td>38</td> </tr> </tbody> </table>	項目名	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	老年人口（65歳以上）の割合（高齢化率）	%	16.2	17.2	18.1	高齢者福祉施設数	箇所	31	31	34	介護保険認定者数(1号)	人	7,504	7,870	8,441	公民館等で実施された高齢者対象の講座数	件	176	273	397	見守り相談員数	人	36	36
項目名	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度																										
老年人口（65歳以上）の割合（高齢化率）	%	16.2	17.2	18.1																										
高齢者福祉施設数	箇所	31	31	34																										
介護保険認定者数(1号)	人	7,504	7,870	8,441																										
公民館等で実施された高齢者対象の講座数	件	176	273	397																										
見守り相談員数	人	36	36	38																										

事務事業名	成果指標名	指標の説明	単位	H19目標	H19実績	達成率%	将来目標
040407 地域包括支援センター運営事業	利用率	被支援者延べ人数/高齢者人口	%	30	29.2	97.3	
040422 地域間・世代間交流事業	ボランティア登録率	登録者数/目標値	%	100	51	51.0	
※「優先的に取り組む事業」とは、第4次所沢市総合計画・実施計画において、特に優先的に資源配分を行うとしたAランク事業のことです。H19年度でのAランク事業は、全体として67事業です。なお、この欄には、これらAランク事業の中で、「①総合計画一中柱」に位置づけられたものが記入されます。							

指標名	説明	単位	基準値	H18	H19	H20	H21	H22	将来目標	
④ 5年後の目標／成果指標	【5年後の目標】生きがいがあると感じている高齢者の割合	%	年度	目標値	78.0	78.0	78.0	78.0	78.0	年度
			17	実績値	72.5	78.8	実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2		1	目標値
			78.0	達成率	92.9%	101.0%				78.0
各種相談件数	高齢者を地域のボランティアで支えるお通者倶楽部は、介護予防や相互扶助から意義があることから、その設置数を指標とする。	ヶ所	年度	目標値	9	11	12	13	14	年度
			16	実績値	8	8	実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2		1	目標値
			7	達成率	88.9%	72.7%				14
各種相談件数	地域包括支援センター等に寄せられた相談件数。気軽に相談できる体制であるかを示す。	件	年度	目標値	6,992	10,030	13,069	16,107	19,146	年度
			17	実績値	11,927	18,085	実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2		1	目標値
			3,953	達成率	170.6%	180.3%				28,262
		%	年度	目標値						年度
				実績値			実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2			目標値
				達成率						

⑤ 平成19年度中に取り組んだ改革・改善点や、新たに実施した事業等、特徴的な取り組み

地域包括支援センターについては、山口地区に新たに設置した。地域住民への周知方法の1つとして、13の地域包括支援センターが看板を設置した。

1) 平成19年度評価により明らかとなった課題、及び新たに認識された課題	現在の進捗状況				
地域包括支援センターは、山口地区に新たに設置し13か所となったが、住民への周知が不足している。	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
地域包括支援センターの相談・訪問件数等は18年度は11927件、19年度は18083件と増加している。	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
お通者倶楽部事業については14か所の設置目標であるが、平成19年度は新たに設置する団体がなく、18年度と同数の8団体である。	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input checked="" type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向

2) 平成20年度における目標設定	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)
今期目標項目(何を)		
地域包括支援センターのより充実した運営をめざす。	市と地域包括支援センターが連携を図りながら、適切な指導・助言・情報提供及びセンターの周知に努める。	年度末

3) 今後の方向性（事務事業の重点化・効率化、実施手段の見直し、他施策との連携、市民との協働 など）
地域包括支援センターは地域住民のニーズの把握とサービス提供に係る相談を受けるほか、一人暮らし、ねたきり及び認知症など要介護高齢者支援や虐待の早期発見などを含めた総合的・継続的な支援を行うものである。本市では各日常生活圏域を14地区とし、1か所ずつ設置することとしているが、平成19年度新たに1か所設置し13か所となる（残る1か所については、平成20年4月に設置）。これによりいつまでも住み慣れた地域で生活ができるよう相談・訪問事業や介護予防事業を重点的に進める。特に、今後は地域包括支援センターの周知に努める。また、お通者倶楽部事業については、地域でいきいきと生活するため、ねたきり・介護・認知症予防等の観点から、今後においても事業の周知と設置団体の増加に努めていく。
評価日 平成20年8月6日 記入者職氏名 保健福祉部次長 三上 一雄